

平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立新今宮小学校

児童数

39

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.14	16.45	33.18	33.76	34.14	10.34	142.52	18.64	48.10
大阪市	16.39	19.24	32.42	39.47	48.99	9.37	147.87	22.59	52.61
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
女子	14.18	19.29	36.29	35.53	30.24	9.72	139.53	14.18	52.00
大阪市	16.20	18.22	36.84	37.74	39.18	9.62	142.12	13.94	54.30
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54

結果の概要

男子は長座体前屈、女子は上体起こしとソフトボール投げのみ全国並み並びに大阪市平均を上回った。総じて体力・運動能力が高くない結果が出ていると言える。

しかしながら、調査に参加した児童数が男子は22名（一部調査は20名）、女子が17名と非常に少なく、標準偏差も大きいことから、子ども達の間での差もかなりあることがわかる。この平均値をもって本校の体力、運動能力の実態であると言い切れないと考える。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

人数が少ないとはいえ、結果として低い値が出ているから、統計処理をしても低くなっているのは事実である。体力の向上に向けて、本校としても重要なテーマとしてとらえ、運動量を増やす努力をしているところである。開校して2年目で、（調査時点ではほぼ一年間）まだ本校の取り組みがどうのと言えるほどの結果を出せるところまで来ていないと考えている。

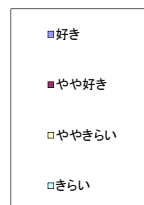
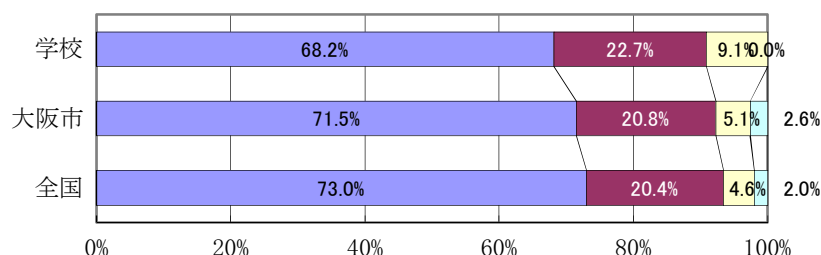
しかし、3小学校が統合し、広い校地の今の校舎になり、中学校と共用ではあるが、広い運動場を児童たちは日々楽しく走り回る姿を多く見るようになってきたし、毎日早くから登校し、集まった子ども達で広い運動場で思い切りサッカーをする姿も見られるようになってきた。体育の授業の工夫もあるが、こういった環境があれば子ども達は喜んで走り回り、飛び回る力を持っている。

運動やスポーツについて（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

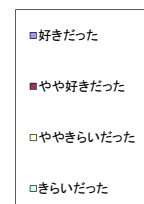
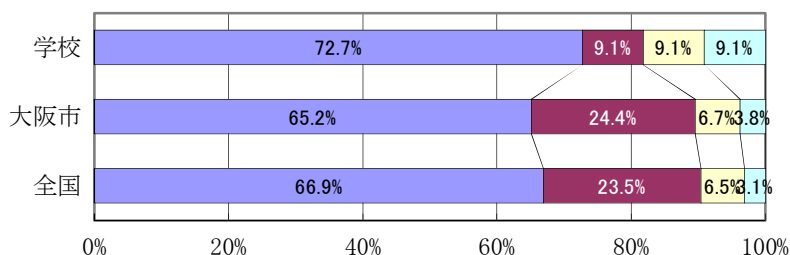
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



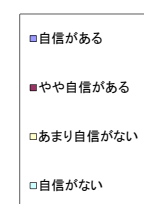
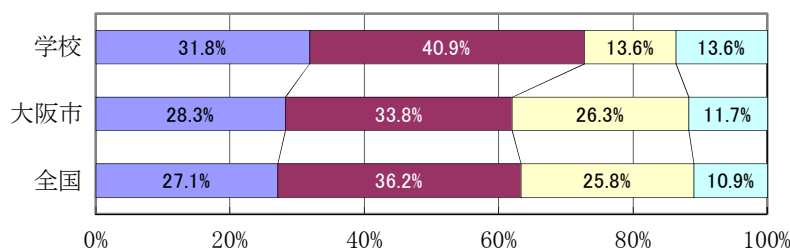
2

小学校入学前は体を動かす遊びが好きでしたか



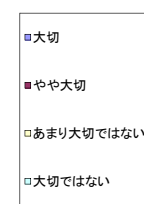
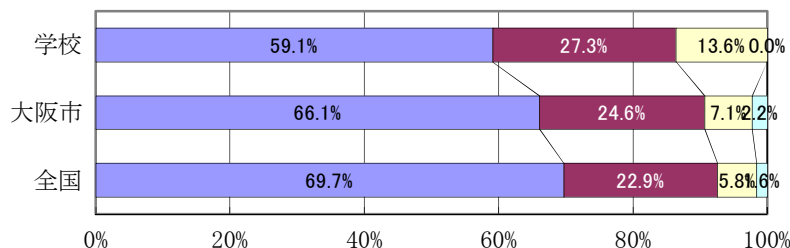
3

自分の体力に自信がありますか



4

あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか



成果と課題

「運動やスポーツが好きか」と言えば、平均的な回答で国や市と大きな違いはないと言える。「体力に自信があるか」では、肯定的回答が国、市平均に比べて10ポイント近く高い。なので、その自信に合わせて運動量を少しでも増やして、体力のさらなる向上につなげたい。

今後の取組

今までの運動量が少なかったのだろうが、本校の広い運動場で遊ぶようになり、少しずつは運動量が増えてきていると思われる。ただ、放課後は中学校の部活があるので、小学生は運動場をあまり使えない。運動系の部活に入る児童については、一定量の運動量は増えるものの、運動系への入部率が高くないので、その辺りの工夫が必要である。

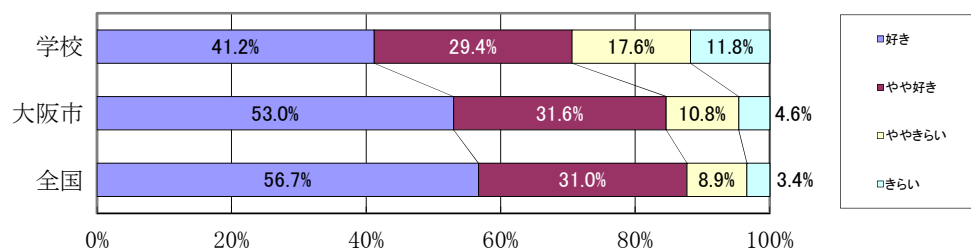
運動やスポーツについて（女子）

質問
番号

質問事項

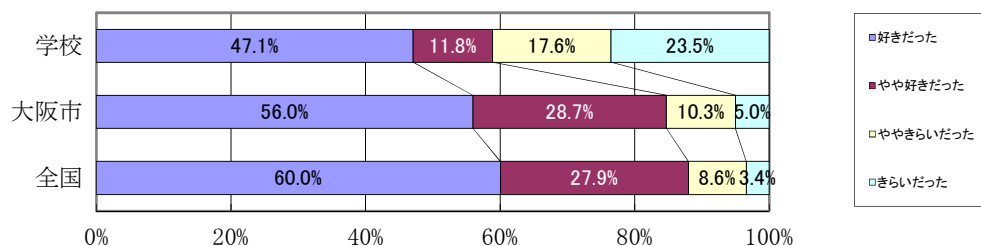
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



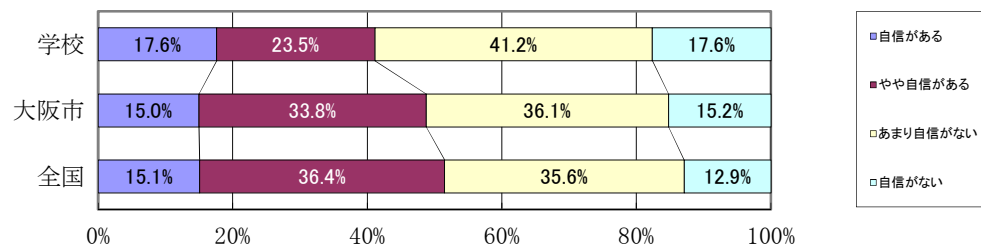
2

小学校入学前は、体を動かす遊びが好きでしたか。



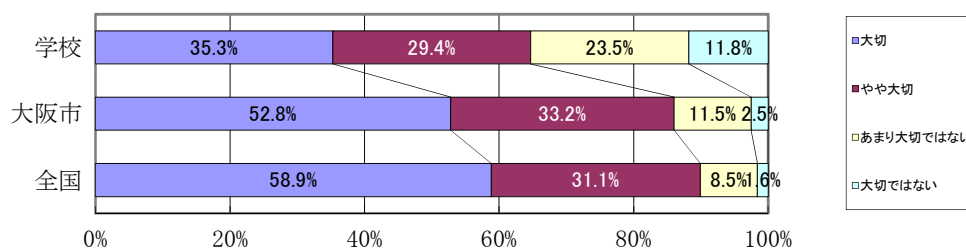
3

自分の体力に自信がありますか



4

あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか



成果と課題

運動やスポーツをすることに対して肯定的回答が国、市に比べて10ポイント低い。それは小学校入学前から同傾向であり、永年の運動量不足が垣間見える。それに伴って、体力にも自信がないようだ。また運動やスポーツを大切なものと思っている肯定的回答も少ない。

今後の取組

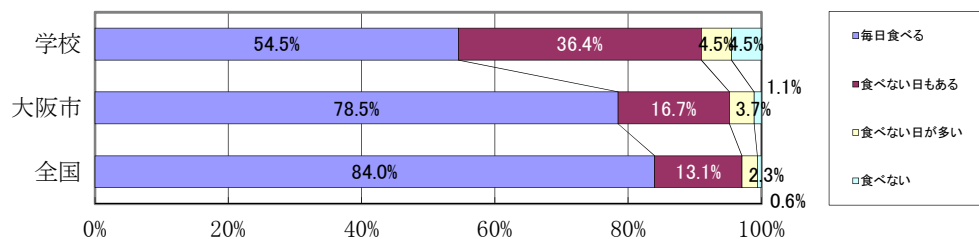
運動、スポーツに対してネガティブな思いを持っている児童が多いように見受けられるので、まず、その苦手意識の克服にポイントを置いた遊び型の運動を取り入れるなどして、身体を動かすことの気持ちよさを体験させる取り組みを導入して、運動からスポーツへと導くのがよいのではないかと考える。

ふだんの生活について（男子）

質問
番号 質問事項

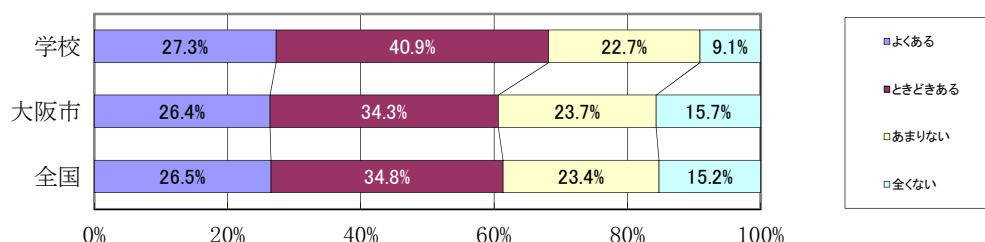
7

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



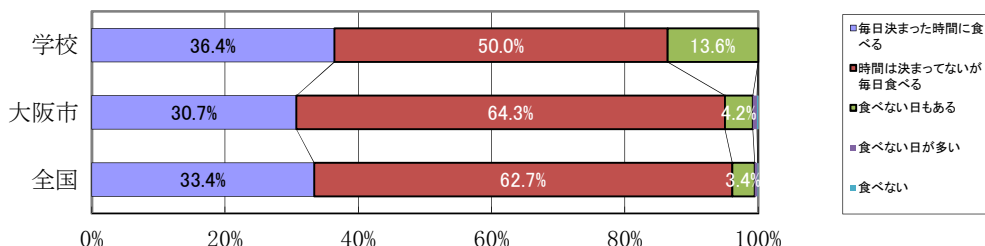
13

家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられますか



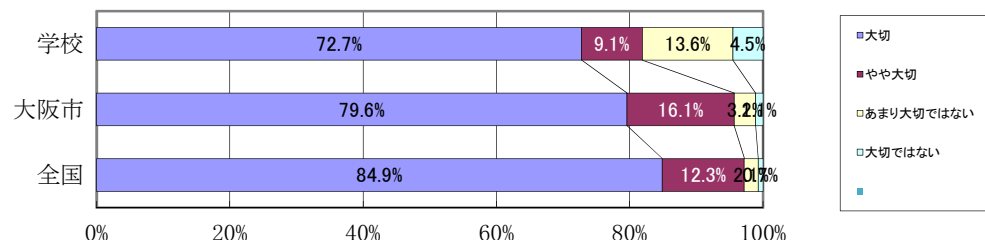
8

夕食は毎日食べますか。(学校が休みの日もふくめます)



16

あなたが健康であるためによくねることはどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

毎日朝食を食べるのが半数しかいないところに本校児童の基本的生活習慣の問題がある。夕食も食べない日がある児童が13.6%もいて、国より10ポイントも高い。よく食べて、よく寝るという基本中の基本のところに問題がある。家庭としっかり連携していきたいところである。

今後の取組

基本的生活習慣、中でも食べる、寝るのところで課題を抱えている児童が一定いるので、その改善なくしては、総体としての平均値は向上しづらい。しかし、この両者は学校と言うよりも家庭に依存するところであるので、家庭との連携の強化を図ることが重要であり、子ども達にも重要性を啓発し、できることは自分の力でなんとかできるように指導していく。

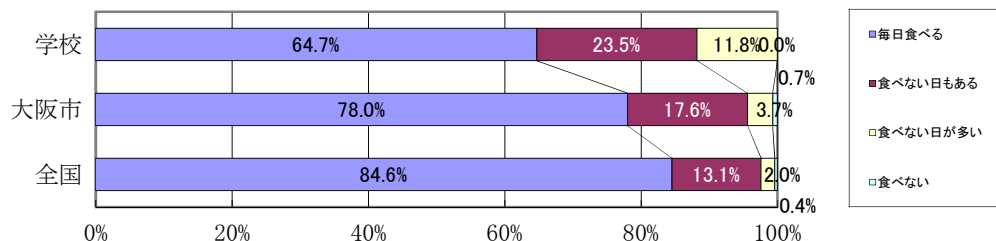
ふだんの生活について（女子）

質問
番号

質問事項

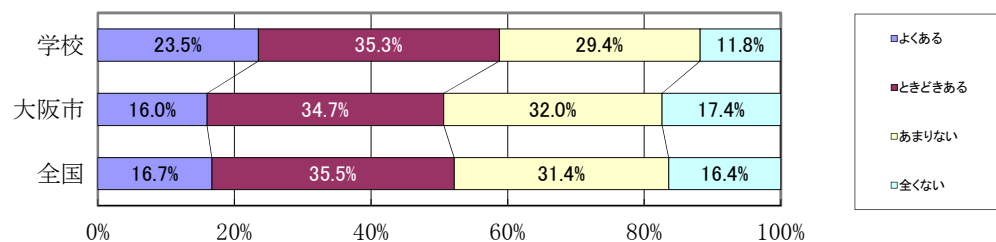
7

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



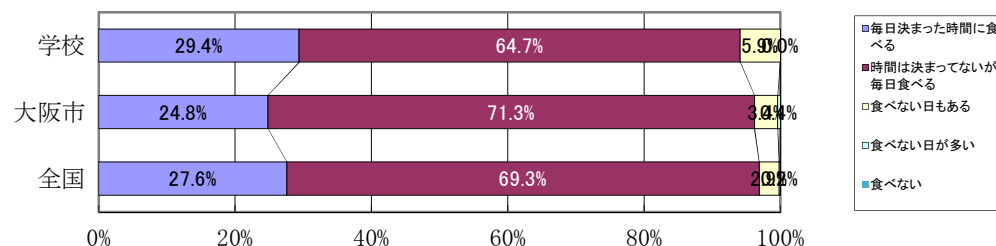
13

家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられますか



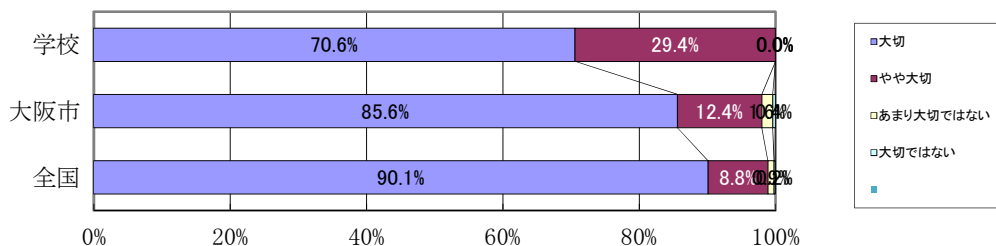
8

夕食は毎日食べますか。(学校が休みの日もふくめます)



16

あなたが健康であるためによくねることはどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

毎日朝食を食べるのが半数しかいないところに本校児童の基本的生活習慣の問題がある。夕食も食べない日がある児童が13.6%もいて、国より10ポイントも高い。よく食べて、よく寝るという基本中の基本のところに問題がある。家庭としっかり連携していきたいところである。

今後の取組

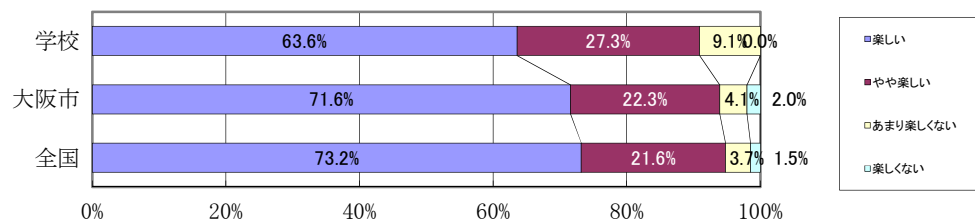
基本的生活習慣、中でも食べる、寝るのところで課題を抱えている児童が一定いるので、その改善なくしては、総体としての平均値は向上しづらい。しかし、この両者は学校と言うよりも家庭に依存するところであるので、家庭との連携の強化を図ることが重要であり、子ども達にも重要性を啓発し、できることは自分の力でなんとかできるように指導していく。

体育の授業について（男子）

質問 番号 質問事項

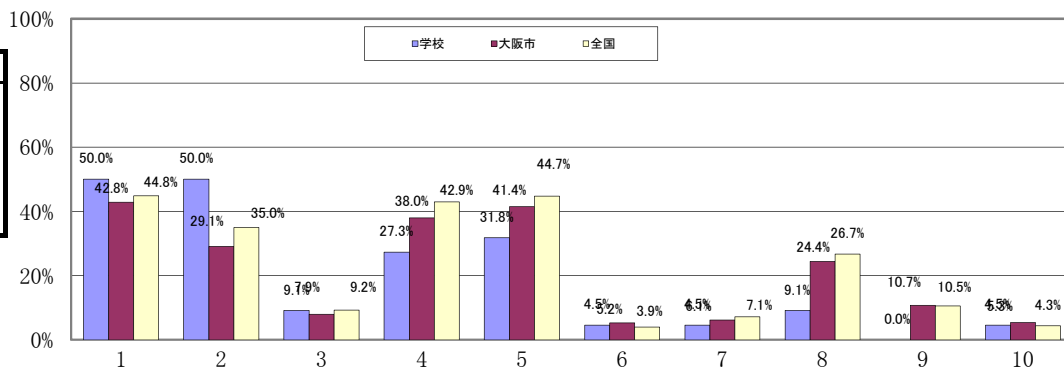
17

体育の授業は楽しいですか



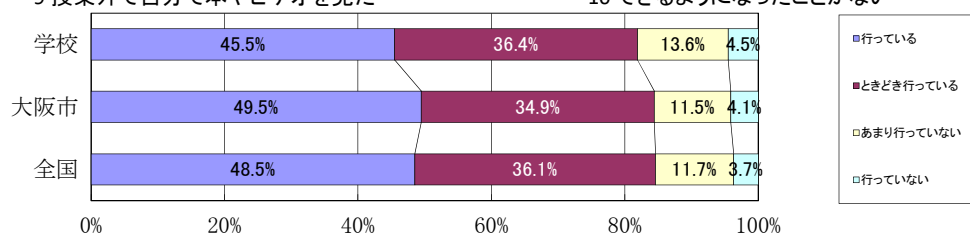
22

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



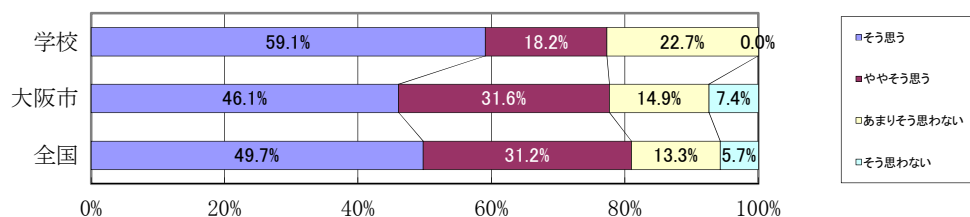
21

ふだんの体育の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか。



24

今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。



成果と課題

体育の授業は楽しいと思っているし、授業中、できないことも先生に聞いたり、自分で工夫したり、友達に聞いてできるようになるように努力している。

体育の授業で、学んだことは将来役に立つと思っている児童は6割で、国、市より10ポイント高い。

今後の取組

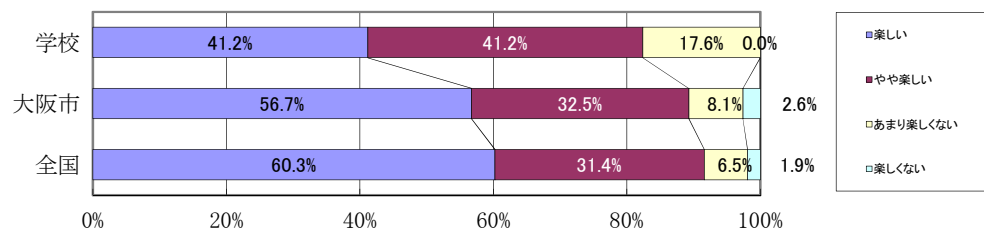
体育の授業を楽しみにしていて、自分の工夫も含めて、できないことにも果敢に取り組む姿勢は良いと考える。また、学んだことは将来役に立つとも思っているのので、体育の授業の組み立ての中で体力向上や走、跳、投をうまく取り入れたプログラムを工夫する。

体育の授業について（女子）

質問番号 質問事項

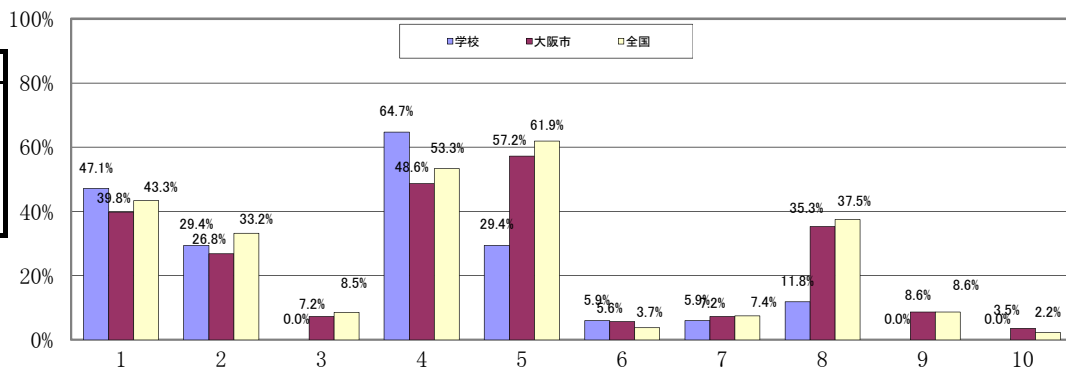
17

体育の授業は楽しいですか



22

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか

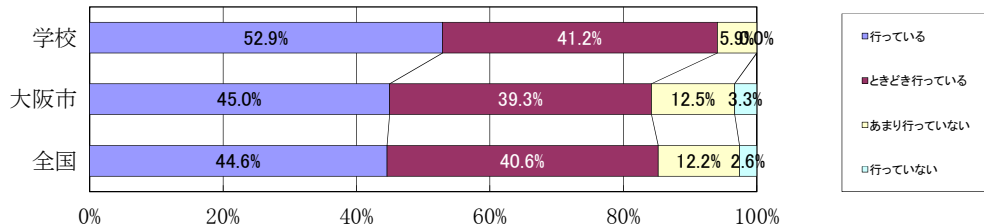


- 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 自分に合った場やルールが用意された
- 友達に教えてもらった
- 授業外で先生に教えてもらった
- 授業外で自分で本やビデオを見た

- 授業中自分で工夫した
- 先生や友達のまねをしてみた
- 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 授業外で自分で練習した
- できるようになったことがない

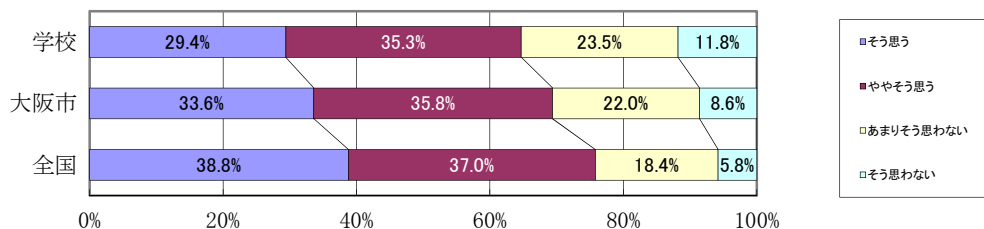
21

ふだんの体育の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか。



24

今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。



成果と課題

8割が体育の授業が楽しいと言っているが、国、市に比べて数ポイント低い。また、授業中「できなかったことができるようになったきっかけ」では、「先生や友達のまねをしてみた」が高ポイントで、周りをよく見ながら自分で努力しているようすが窺える。体育の授業で学んだことが将来役に立つと思っている児童も国、市と比べて数ポイント低い。

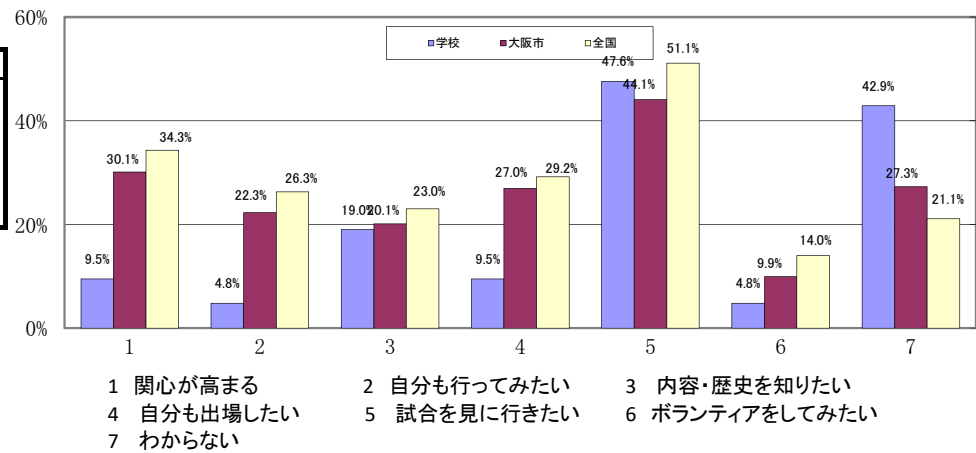
今後の取組

体育の授業が楽しく思えるような工夫をさらにする必要がある。その中で、先生や友達と教え合う中で、できなかったことができるような環境づくりを進めることで、体育に対し、積極的に取り組めるようになり、自信が持てるようになれば、将来役に立つのではと思えるようになると思われる。

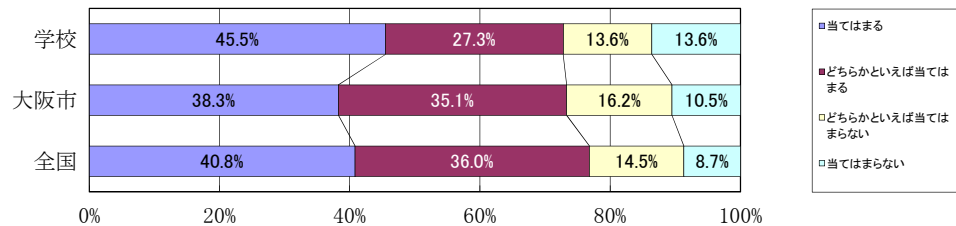
その他（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

30
オリンピック・パラリンピックへの気持ち



33
自分には、よいところがあると思う



成果と課題

オリンピック、パラリンピックについては、知っている・興味のある競技の試合などは見てみたいと思っているが、かなりの児童は「わからない」と回答している。オリンピック、パラリンピックについての基本的な知識について学ぶ機会を作る必要がある。「自分には良いところがある」「最後までやり遂げてうれしかったことがある」などの質問では肯定的回答が国、市と比べて低く、自尊感情、達成感、成就感、チャレンジ精神など自信につながるところが弱い。

今後の取組

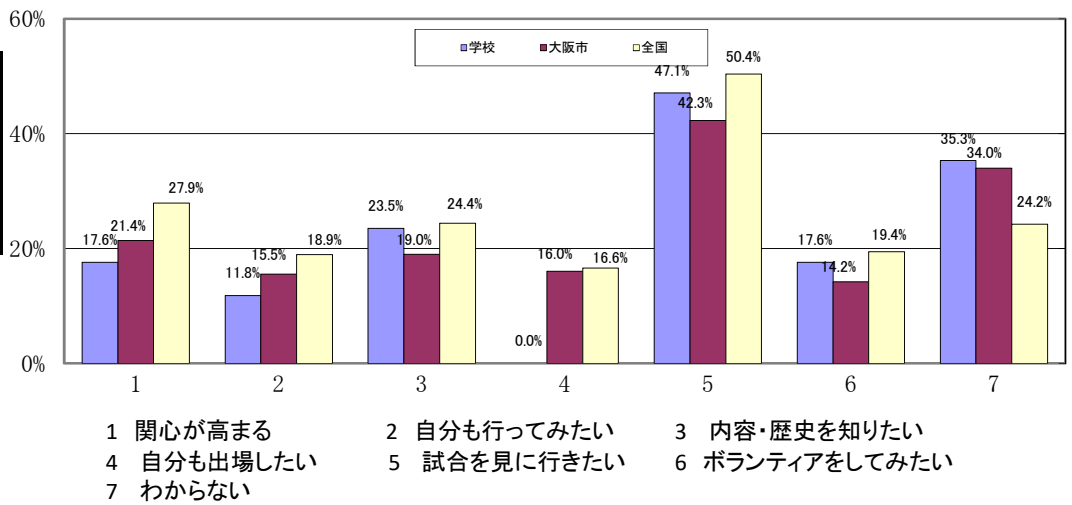
オリンピック、パラリンピックについては、基本的な知識について学ぶ機会を作る。自尊感情、達成感、成就感、チャレンジ精神など自信の醸成につながる取り組みを体育のみならず、授業や学校行事等の中で進めていく。

その他（女子）

質問 番号 質問事項

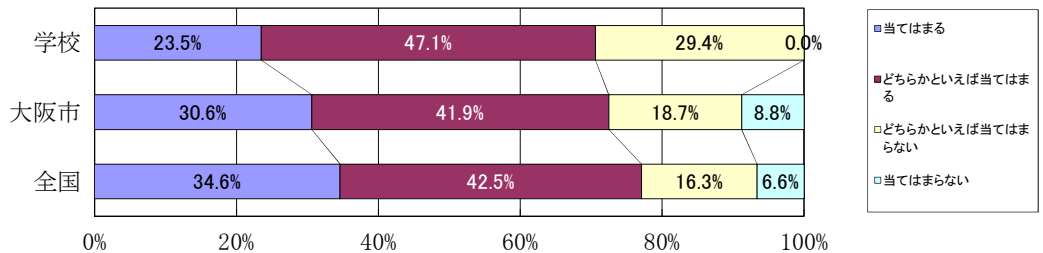
30

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



33

自分には、よいところがあると思う



成果と課題

オリンピック、パラリンピックについては、知っている・興味のある競技の試合などは見てみたいと思っているが、かなりの児童は「わからない」と回答している。オリンピック、パラリンピックについての基本的な知識について学ぶ機会を作る必要がある。「自分には良いところがある」「最後までやり遂げてうれしかったことがある」などの質問では肯定的回答が国、市と比べて低く、自尊感情、達成感、成就感、チャレンジ精神など自信につながるところが弱い。

今後の取組

オリンピック、パラリンピックについては、基本的な知識について学ぶ機会を作る。自尊感情、達成感、成就感、チャレンジ精神など自信の醸成につながる取り組みを体育のみならず、授業や学校行事等の中で進めていく。